

# この夏 輝いた中学生たち

第11回全日本少年軟式野球  
クラブチーム選抜大会

優勝（愛知フラスシジュニア）

東郷中学校 3年 村上圭亮

東郷中学校 3年 福田陸斗

春木中学校 3年 木村幹太



左：福田陸斗さん、右上：村上圭亮さん、右下：木村幹太さん

愛知フラスシジュニアの3年生はとても仲が良いです。誰かがミスしてもカバーしあう「全員

野球」を大切にしてきました。この思いを貫き、念願の「日本」という目標を達成することができました。決勝戦が始まる前は、緊張よりもワクワクしていました。厳しい練習に耐え全国優勝出来て嬉しかったです。

これは自分自身の努力だけではなく、監督、コーチの熱い指導、家族の支え、仲間の声援のお陰だと感謝しています。昨年はコロナで全国大会に挑む機会もなく、涙を流す先輩方の姿を見てきて、「その悔しさ」も背負ってきました。

次のステップでも助け合いを大切にし、新たな目標に向かって頑張っていきたいです。

第49回日本リトルシニア  
日本選手権大会

ベスト8（豊田リトルシニア）

東郷中学校 3年 松山侑樹

春木中学校 3年 中川唯一

チームの目標は全国大会に出場して上位に進出する事です。

新チームで挑んだ秋季大会では、まさかの初戦敗退。相手チームの歓声は屈辱で悔しい思いをしました。

悔しさを糧にチームメイトと声を掛け合いながら、厳しい練習に励み春の大会では優勝、全国大会への切符を掴む夏の大会では準優勝し、8月に仙台市で開催された全国大会へ出場しベスト8まで進むことが出来ました。

全国大会での何とも言えない緊張感、敗退後みんなで流した涙、本当に良い経験をさせて頂きました。

高校では、次なる目標に向かって努力します。最後に指導者、保護者の方々、コロナ禍の中、野球をやるる大会に出場出来た事から感謝しています。

全日本中学選手権競漕大会

男子舵手付フオドルプル

準優勝（愛知東郷ボートクラブA）

6位入賞（愛知東郷ボートクラブB）

代表 諸輪中学校 3年 内藤稜介

愛知東郷ボートクラブの練習は、主に土日の2日しかありません。



中川唯一さん



松山侑樹さん



ても、互いに励まし合い頑張る仲間は素晴らしい、僕はこのボートクラブが大好きです。

コーチの皆さん、サポートしてくださった保護者の皆さんに感謝しています。そして、ボートができるこの環境に感謝しています。1、2年生は来年の全日本大会でぜひ金メダルを取ってきてください！応援しています！

### 全日本中学選手権競漕大会

#### 女子舵手付クオドルプル

5位入賞 (愛知東郷ボートクラブ)

東郷中学校 3年 近藤莉央（近藤 莉央）

愛知東郷ボートクラブでは、町内外の中学生が土日に愛知池に集まって練習しています。

また、今年はコロナ禍で思うように練習を積み重ねることもできませんでした。その分、他校のボート部よりも厳しい練習を集中して行っていたため、月曜日はいつも全身筋肉痛で大変でした。本大会では、2秒差で準優勝と悔しい結果になってしまいました。このように厳しい練習がなければ、好成績を残すことはできなかったと思います。辛い事、悔しい事があ

私が入部した年は、同学年のクラブ員には他に女子が居ませんでした。でも、そんな事が気にならないうらいボートに乗るのが楽しくて、仲間と一緒にトレーニングに励みました。どうしても男子と体力の差が出てしまう事はありませんでしたが、頑張る、粘って、食らいつくように練習していると、段々



### 令和3年度全国中学生カヌー大会 男子カヌースラローム

4位入賞 (Team アクセプト)

東郷中学校 3年 中西空慶（中西 空慶）

カヌーポロを始めて6年目、スプリント、スラロームを始めて4年目。普段、三好池や保田ヶ池で練習をしています。僕はクラブチームで活動をしているため、週に一回しか練習ができません。部活などで毎日のように練習している人達に抜かれていく悔しさと、思うように練習が出来ないもどかしさの中、練習を続けてきました。

スプリントの全国大会に出るのは小学生の時以来。「とにかく悔いのない漕ぎをしよう。」その想いで臨んだ大会でした。納得のいく結果ではありませんでしたが、凄く

タイムが縮んできて喜びが湧いてきました。学年が上がって女子の後輩が出てからはダブルやクオドルプルにも乗れるようになって楽しさが増しました。

3年生最後の大会では後輩達とクオドルプルで5位入賞することができて、最高の思い出になりました。



すっきりしています。

コロナ禍の中、大会を開催してくださった山形県の方々。そして新しいことを習得するのに時間がかかってしまう自分に、辛抱強く指導してくださった監督、一緒に戦ったチームのみんな、ありがとうございました。

### 令和3年度全国中学生カヌー大会 女子カヌースラローム

4位入賞 (Team アクセプト)

東郷中学校 1年 中西水紅みなみく



今年コロナで大会が少ない中、全国中学生カヌー大会という大きな大会に出場出来ることになり、嬉しさとともに緊張や不安な気持ち

ちがありました。練習が出来る日

数も決まっていた、不安がなくなるほど練習をすることも出来ませんでした。大会前にプログラムを確認した時、自分が出るレースの選手が年上ばかりで諦めかけていました。ですが、友達がライブ配信を観て大会中ずっと応援をしてくれたので、最後の1パドルまで諦めず漕ぎきることが出来ました。

大会に出て全国の選手の漕ぎや大会に臨む気持ちにすごく刺激を受けました。「もっと練習したい。もっと速く漕げるようになりたい」と強く思いました。年上の選手とも競い合えるように自分が出ることをしっかりとやって、来年またこの大会に戻ってこられるように頑張りたいです。

### 第52回関東中学校サッカー大会

優勝、全国中学校サッカー大会

ベスト8 (諸輪小学校卒業)

暁星国際中学校 3年 石田雄太ゆうた

保育園から所属していた東郷町のクラブチームのコーチに誘われ、暁星国際中学校に進学しました。



優しい先輩方のおかげで寮生活にもすぐ馴染め、毎日時間の許す限り自主練した結果、2年生の11月には千葉県のストライカートレセンに呼ばれました。しかし、右脚に三角骨障害を発症してしまい、強い痛みのでいでボールを蹴られなくなりしました。1月に手術をして、3年生の4月にやっと練習に復帰し、現在に至ります。

今回、全国大会ベスト8という成績を収められたのも、たくさんの方の協力や応援があったからだと思っています。東郷町でお世話になった方々に、良い報告ができたことを本当に嬉しく思います。これからも応援よろしくお願います。

### 愛知県中学生空手道選手権大会 女子団体組手 優勝 (荒賀道場)

春木中学校 3年 藤村美月みづき

春木中学校 3年 福嶋優芽ゆうめ

春木中学校 1年 松本八穂やほ

私は今回の大会で、今まで一緒に練習してきた仲間や、いつも周りでサポートしてくれる保護者の方、ここまで熱心に指導してくれた先生方への恩返し気持ちも込めて、出場しました。中学校生活最後の全国につながる大会で、今まで以上に悔いが無いよう練習し、大会当日は楽しむ気持ちを忘れず精一杯戦いました。

準決勝では一勝一敗で自分が勝てば全国大会決定という場面が訪れ「絶対勝つ」という強い気持ちの一心で戦い、勝った瞬間に先生が喜ぶ姿や仲間から「ありがとう」と言われたときは、嬉しくてたまりませんでした。

決勝も勝ち、三人で優勝を掴んで全国出場という素敵な経験ができて、この仲間と団体が組めて幸せです。支えてくれた全ての方に感謝

謝です。本当にありがとうございました。



左から藤村美月さん、福嶋優芽さん、松本八穂さん

### 愛知県中学生空手道選手権大会

#### 女子個人組手 準優勝（荒賀道場）

春木中学校 3年 福嶋優芽

県大会の前日の夜、私は眠れないほど緊張していました。なぜなら、この大会は中学三年生として最後の大会であり、出場するために、一生懸命練習してきたからです。

県大会では決勝まで勝ち進みましたが、相手の「勝ちたい」という気持ちが自分より勝り、全国大会でも思うような結果を出せませんでした。県代表に選ばれた嬉しさ、全国大会で悔しい思いを経験した私の今の目標は高校でも空手を続けてインターハイに出場し、

一つでも多く勝つことです。

最後になりましたが、これまで指導してくださった監督やコーチ、一緒に練習してきた仲間、応援してくれた先生や友達、そして何よりも家族に感謝しています。感謝する気持ちを忘れず、色々な人から応援される選手になりたいです。

### 愛知県中学校総合体育大会柔道競技

#### 女子個人 第3位

春木中学校 3年 福岡瑠璃

私は、一年生の時に県大会に出場しましたが、良い成績を残すことができませんでした。「次こそは絶対に入賞する！」と心に決めていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で練習ができず、大会も一切ありませんでした。

今年は三年生で最後の年になるので、絶対に成績を残さなければならぬというプレッシャーがありました。今までにないくらい努力をしました。結果は県大会3位で優勝することができず、悔しい思いをしました。支えてくださった周りの人に感謝しています。

これからも柔道に励み、リベンジを果たそうと思います。応援よろしくお願いします。



### 愛知県吹奏楽コンクール

#### A編成の部 銀賞

東郷中学校 3年 石川 藍

昨年度のコンクールが中止となり、部員の大半が初めて参加となるコンクールで、県大会に進み、銀賞をいただくことができました。

コロナウイルスの影響で全体練習が少なく、息の合った演奏ができるようになるまで、とても時間がかかりました。今まで普通に練習できていたことは当たり前ではないのだと気付かされました。

このような結果を残せたのは、指導してくださった顧問の先生方、いつも応援してくれた家族、そして大変な時も一緒に頑張ってきた部員たちのおかげです。  
今年度は無観客のコンクールでしたが、早く大勢の人の前で演奏できる日々が戻ってきてほしいです。

